



忠臣蔵

声優朗読会

吉良上野介義央公物語

運命を背負った男

日時 令和4年12月24日(土)

会場 愛知県西尾市一色地域文化広場
一色町公民館カーネーションホール

前売券 4,000円(税込)

出演 神谷明・梅田修二朗・松岡洋平

脚本 川内雅樹

主催/協賛 N.P.Cent 後援/西尾市西尾市教育委員会(社)西尾市観光協会 吉良氏800年祭実行委員会



梅田修二朗

魔法使い・黎明期(サーベル役)
可愛いだけじゃない式守さん(和泉くん役) など



松岡洋平

八男って、それはないでしょう!
(エーリッヒ役)



神谷明

吉良上野介義央役

バビル2世(バビル2世役)、
下カベン(里中智役)、
キン肉マン(キン肉マン役)、
北斗の拳(ケンシロウ役)
シティーハンター(冴羽狼役) など

吉良上野介義央

吉良義冬の嫡男。母は大老酒井忠勝の弟・忠吉の娘。
1653年、幕府に出仕。従四位下侍従、従四位上左少将に任じられた。官途は上野介。68年に家督と高家を継ぐ。1701年3月14日、勅使江戸下向の接待をめぐって遺恨があったとして、江戸城大廊下で播磨国赤穂藩主浅野内匠頭長矩(たくみのかみながのり)に斬り付けられた。長矩は即日切腹となり、赤穂藩は取り潰しとなった。義央は高家役の辞退を願い出て隠居したが、翌年12月14日、

主君の遺恨を晴らそうと浅野家田臣47人が本所吉良邸に討ち入り、義央は斬殺された(元禄赤穂事件)。幕府は田臣に切腹を命じる一方、義央の跡を継いでいた義周(よしちか)を流罪に処し、吉良家を取り潰した。義央は事件を脚色した物語「忠臣蔵」で尊大な気風と悪評高いが、領地のあった西尾市吉良町では、富好(とみよし)新田の開発や黄金堤の築堤など、水利事業を行った「名君吉良さん」として、長く慕われている。

吉良上野介義央 木像



公式ホームページ チケット販売

